

「令和2年度太田小アンケート」まとめ

さいたま市立太田小学校

太田小学校では、保護者や地域の皆様から御支援と御協力を得ながら、校長の指導のもと教職員一丸となって学校教育目標「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」の具現化のために教育活動の充実を図っております。その取組の評価として昨年12月に行った「太田小アンケート」の結果をまとめましたので、御報告します。御協力ありがとうございました。

なお、紙面の都合上、すべてのご意見を紹介できませんことを御了承ください。また、内容にお気づきのことがありましたら、御遠慮なく本校教頭まで御連絡ください。

【考察及び今後の取組】

- 18項目中7項目において、9割以上の方から肯定的回答(よくあてはまる、ややあてはまる)をいただいた。その他の7項目についても8割以上の方が肯定的に回答している。さらに、残りの4項目についても、7割以上肯定的回答をしていることから、本校の取組はおおむね成果が出ていると考えられる。
- 2年間の変化を見ると、17の項目でわずかではあるが増えている傾向が認められる。これは、SSN(スクール・ネット・ワーク)協議会の充実など、PTA組織や関係諸団体との連携が深まることによって、教育環境の整備に伴い教育活動が充実できたことや、学校の取組を理解してくださっていることであるととらえている。引き続き、SSN協議会での情報交換を行いながら連携を深め、積極的に情報発信をしていく。
- 昨年度と比較して、肯定的回答の増加が最も大きかったのは「10 通知表をお子さんの学習意欲を喚起することに役立っている」に関する項目である。通知表は学校における学習や生活の状況を保護者に連絡する手段であることを踏まえると、その役割を果たせるようになってきたと考える。学校では、引き続き、通知表が各家庭においてお子さんの学習意欲の向上のきっかけとなるよう、様々な角度から子どもたちの状況を見取れるよう努めていく。
- ▼ 「5 進んで学習に取り組む」「6 お子さんは進んで体を動かしている」「7 お子さんは自分から宿題、家庭学習に取り組んでいる」「10 通知表をお子さんの学習意欲を喚起することに役立っている」の4項目は、肯定的回答が7割～8割程度にとどまっている。学校での指導が日常生活により影響を与えるよう、子どもたちが主体的に学習や運動に取り組む指導や支援の在り方を工夫していく。

1 保護者アンケート (2か年比較)

